

cado



除菌消臭器

PG-E610S

取扱説明書

日本国内専用 (Use only in Japan)

目次

- 1 安全上のご注意
- 3 設置について
- 4 各部のなまえとはたらき
- 5 本体の組み立て
- 7 タンクに除菌・消臭剤
ピースガードを補給する
- 8 使いかた
- 9 お手入れのしかた
- 12 故障かな?と思ったときは
- 13 仕様



安全上のご注意 必ずお守りください

商品および取扱説明書には、お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を防止するために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みください。
内容を無視して、誤った取り扱いをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

表示の説明



警告 「死亡または重傷を負うおそれがあること」を示します。



注意 「軽傷を負う、または家財に損害を与えるおそれがあること」を示します。

図記号の説明



禁止 「してはいけない禁止事項」を示します。



指示 「必ずしなければならない強制事項」を示します。



警告



禁止

- ❖ めれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。
- ❖ 電源コードを傷つけない。
電源コードを傷つけると、ショートや断線して感電や火災の原因になります。
電源コードについて、下記のことを守ってください。
 - 加工したり、傷つけたりしない。
 - 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものをのせたりしない。
 - 熱器具に近づけない。
 - 加熱しない。
 - 電源コードを持って引き抜かない。
 - 持ち運び時に電源コードを引っ張らない。
- ❖ 交流100V以外で使わない。
火災や感電の原因になります。
- ❖ 幼児に電源プラグをなめさせない。また、本体に触らせない。
- ❖ 分解、改造、修理しない。
火災や感電、けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店、または最寄りのお客様ご相談窓口にご相談ください。
- ❖ 吹出口からの噴霧気は、故意に吸入しない。
- ❖ 異臭や、機器の異常を感じたときは、使用を直ちに中止する。
使用を中止してお客様ご相談窓口にご相談ください。

- ❖ 吹出口、超音波振動部、本体のすき間に針金などの金属を入れない。
感電・ショート・発火の原因になります。
- ❖ お手入れに塩素系、アルカリ性の洗剤を使わない。
洗剤から有毒ガスが発生し、健康を損なう原因になります。



指示

- ❖ 電源プラグは、根元までしっかり差し込む。
差し込みが不完全だと、感電や火災の原因になります。
 - 電源コードや電源プラグが傷んだり、差し込みがゆるいコンセントは使わない。
- ❖ 電源プラグのホコリなどは、定期的に乾いた布で拭き取る。
ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。
 - 長時間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
- ❖ 使用しないとき、お手入れ、点検、移動の際は必ず運転を停止し、電源プラグを抜く。
電源プラグを差し込んだままにすると、感電やけがの原因になります。

注意



禁止

- ◆ 除菌の際は、ピースガード*¹を約4倍に、加湿の際は、ピースガードを約30倍に、それぞれ水道水で薄めて使用する。

ご注意

- 水道水のみをタンクに入れしないでください。雑菌が繁殖する可能性があります。
- ピースガード以外の製品を使用しないでください。酸性タイプの製品をピースガードに混ぜると有害ガスが発生する危険があるため、併用・混合はしないでください。^{*2}
- ◆ **タンクやダクトをはずしたまま使用しない。**
ピースガード/水道水が噴き出して、周辺の内装品に損害が出るおそれがあります。
- ◆ **衣類・カーテン・壁などの側で使用しない。壁や窓から必ず1m以上離して使用する。**
シミ・変色する原因になります。
- ◆ **テレビやラジオ、ビデオ、コードレス電話、エアコンなどの機器から1m以上離す。**
テレビ画面のチラつきや、雑音が入るなどの電波障害が起こることがあります。
- ◆ **お子様が玩具として遊ばないように注意する。**
本体を転倒させるとピースガード/水道水が漏れ、周辺の内装品に損害が出るおそれがあります。
- ◆ **本体を水に浸したり、丸洗いしない。**
底部の電気部分に水が入ると、ショートや故障の原因になります。
- ◆ **凍結に注意する。**
凍結のおそれがあるときは、本体のピースガード/水道水を捨ててください。
- ◆ **本体を傾けない。**
タンクにピースガード/水道水を入れたまま本体を傾けると、ピースガード/水道水がこぼれるおそれがあります。また発生する霧の量が少なくなる可能性があります。
- ◆ **タンクを本体にセットした後は、タンクの取り付け・取り外しをむやみに繰り返さない。**
ピースガード/水道水が溢れるおそれがあります。水位が上昇し発生する霧の量が少なくなる可能性があります。

- ◆ **本体の上に物を置いたり、乗ったりしない。**
転倒により、破損・故障の原因になります。
- ◆ **本体をさかさまにしない。**
故障の原因になります。



指示

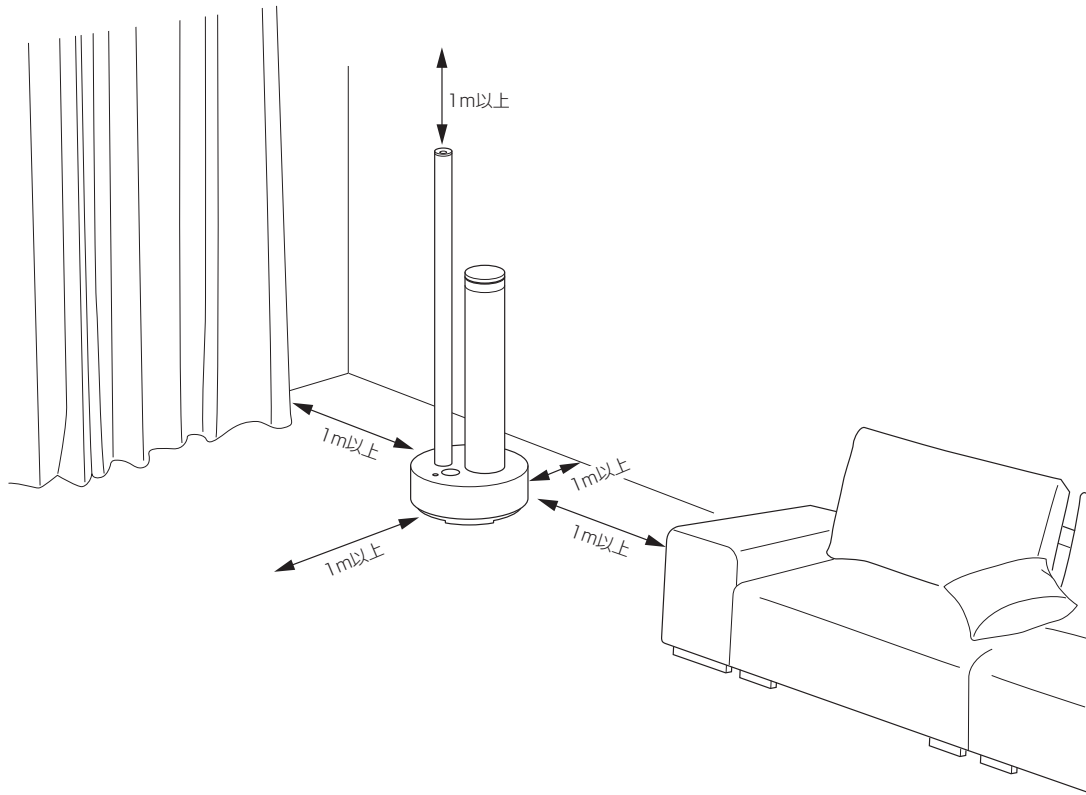
- ◆ **排水方向表示に従ってピースガード/水道水を捨てる。**
本体内部の基板などにピースガード/水道水が入ると、故障の原因になります。
- ◆ **本体を持ち運ぶ際には、本体と本体カバーを両手でしっかり持つ。**
本体カバーのみを持つと、持ち運び中に本体が本体カバーから外れて落下するおそれがあります。
- ◆ **本体のお手入れは週2回以上を目安に行ってください。**
お手入れを行わずに使用し続けると、汚れや水垢で霧化量が低下したりすることがあります。また、まれにアレルギー体質などの方が過敏に反応し、健康を害するおそれがあるので、必ずお手入れをしてください。

*¹ 除菌・消臭剤ピースガードは株式会社ピースガード社の登録商標です。

*² ピースガードの保管や使用上の注意に関しては、同梱のピースガードのリーフレットをご参照ください。

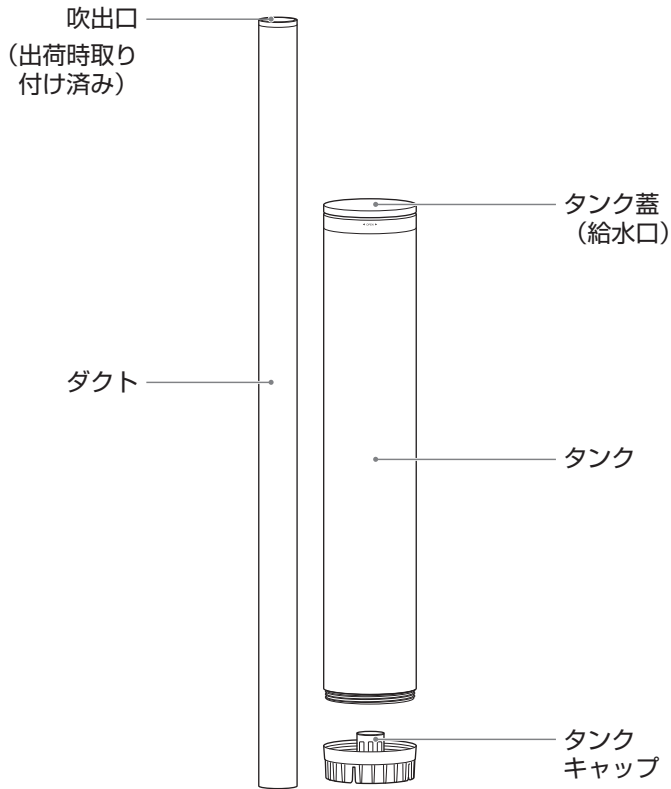
設置について

本機を使用するときは、図のように壁や周囲から十分な距離を保ってください。また、本機を設置する際には下記の点に注意してください。

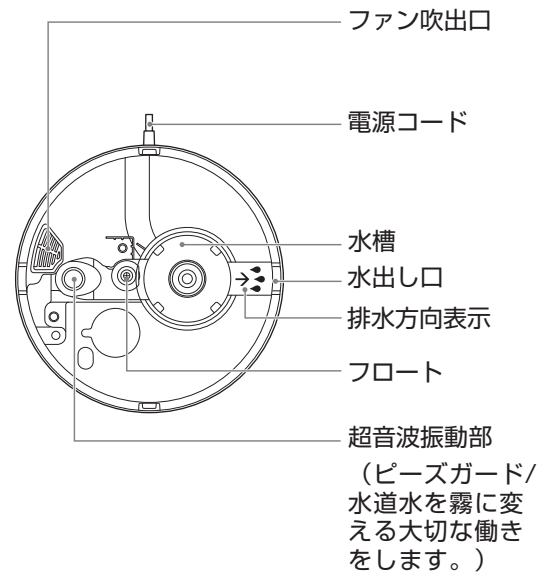


- 窓や壁からなるべく離れた場所に置く。
窓や壁に霧がかかると、水滴となって窓や壁、床に付着し、カビなどが発生することがあります。
- 吸気口・吹出口をふさがず、室内の空気がよく循環する場所に置く。
性能低下や故障の原因になります。
- 下記の場所では使用しないでください。
 - － 物が落下するおそれのある場所、凹凸がある場所
不安定な物が置いてある棚などの下や、凹凸がある不安定な場所では使用しないでください。思わぬ事故や誤作動の原因になります。
 - － 霧が家具、壁、カーテン、天井、電気製品などに直接あたる場所
湿気による故障、しみ、変形の原因になります。
 - － 電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気が多い場所
本機が正常に動作しないことがあります。
 - － 傾斜がある場所や不安定な場所
本機が傾くと、本体の転倒、水漏れ、霧化量の変化、水位検出の誤動作による運転停止などの問題が発生することがあります。
 - － じゅうたん、電気カーペット、ふとんなどの上
毛足が長いじゅうたんや、ふとんの上などに置くと、吸気口がふさがれて霧が出にくくなります。また、内部温度が上昇して水があふれたり、安全装置が誤作動することがあります。
 - － 直射日光があたる場所、暖房機の上、暖房機の近くや温風があたる場所
本機が変形または変色することがあります。

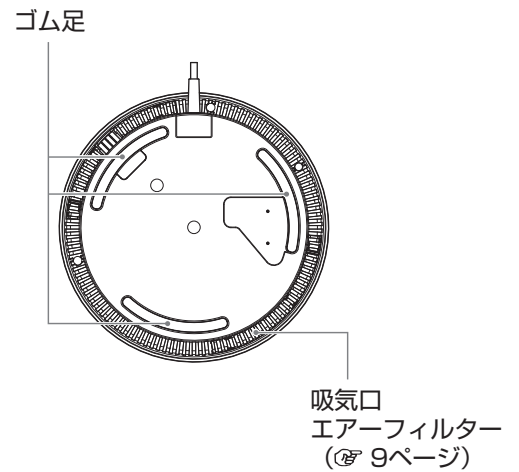
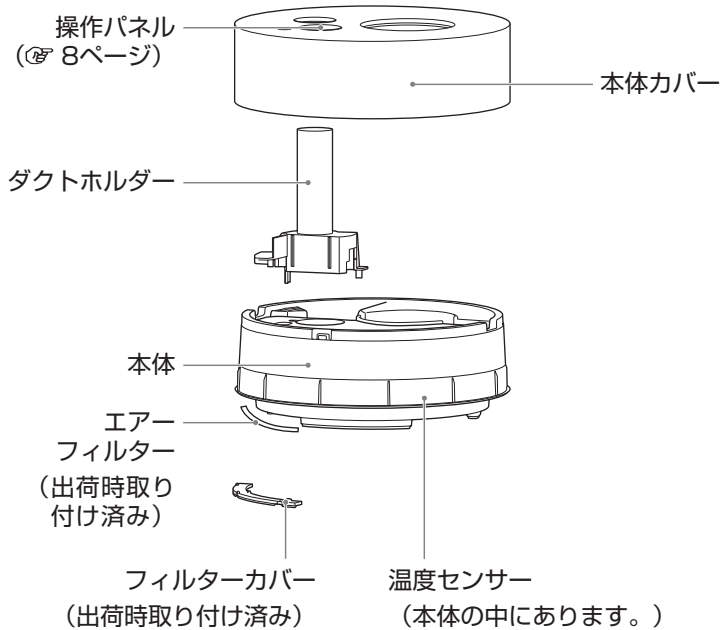
各部のなまえとはたらき



上部 (本体の内部)



底部

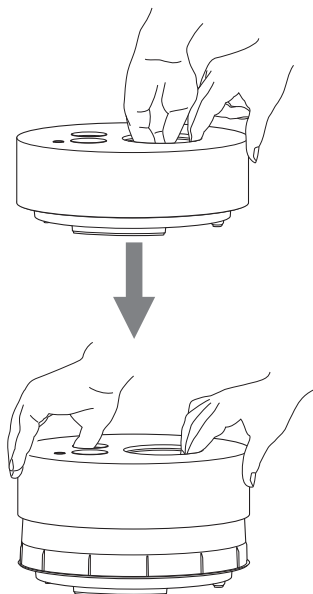


本体の組み立て

初めて使用する場合は、下記の手順に従い、ダクトとタンクを本体に正確に取り付けるようにしてください。

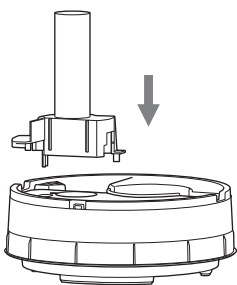
1 本体カバーを取りはずす。

本体の水槽部に手を入れ本体を押さえます。もう一方の手で、本体カバーの側面をつかんで持ち上げます。

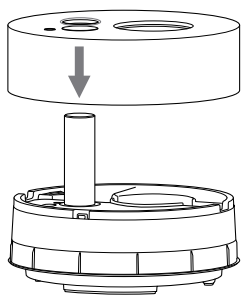


2 ダクトホルダーを本体に取り付ける。

ダクトホルダーを矢印の方向に取り付けます。

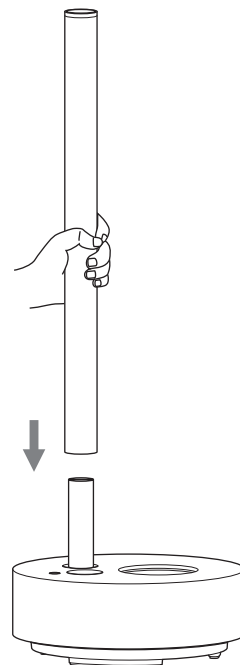


3 本体カバーにあるダクトの穴位置をダクトホルダーに合わせ、本体に取り付ける。



4 吹出口を上に向け、ダクトを取り付ける。

本体カバーにあるダクトの穴位置にダクトを矢印の方向に差し込みます。



5 ピーズガード／水道水を入れる。

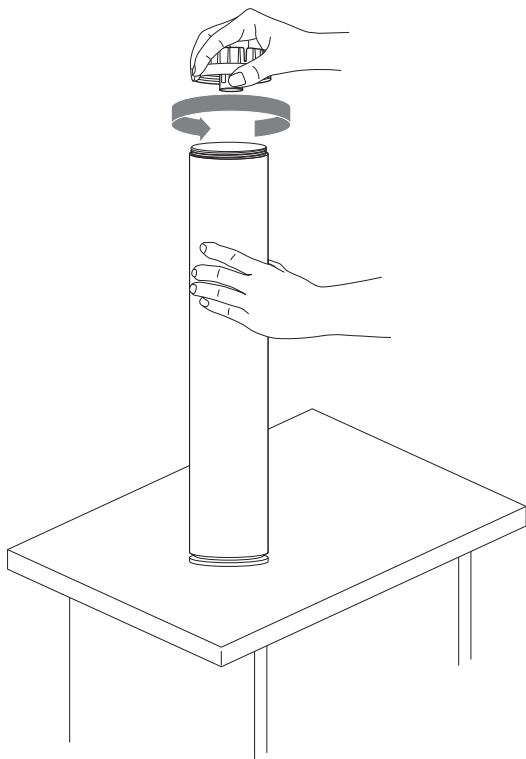
タンクをポリ袋から取り出し、給水口を上に向け、タンクに除菌・消臭剤ピースガード／水道水を入れます（入れ方は 7 ページをご覧ください）。

ご注意

- ピーズガード液が良く混ざるよう、先に水道水を入れてから、お使いのモードに合わせた量のピースガードを入れてください。
- ピーズガード／水道水は必ずタンクに入れてご使用ください。（直接水槽には入れないでください。）
- タンクを扱うときは、安全のため必ず両手で支えながら持ってください。
- タンクにピースガード／水道水を入れたら、ピースガード／水道水が漏れないことを確認してください。
- タンクを本体にセットした後は、タンクの取り付け、取りはずしをむやみに繰り返さないでください。
- ピーズガード／水道水に薬品、香料、精油、アロマオイルなどを加えないでください。

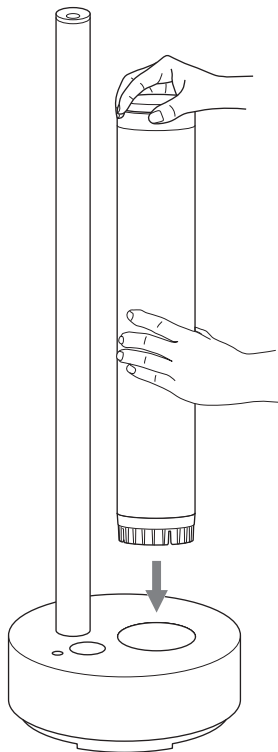
6 タンクキャップを取り付ける。

タンクキャップを時計回りに回して取り付けます。



7 タンクを取り付ける。

本体に差し込みます。



タンクに除菌・消臭剤ピースガードを補給する

※お使いのモードに合わせて、ピースガードを水道水で薄めてご使用ください。

- 除菌モード（間欠的に霧が発生します。）
専用のピースガードを約4倍に薄めてお使いください。

タンク1杯分目安：

水道水 約1600cc+ピースガード 約600cc

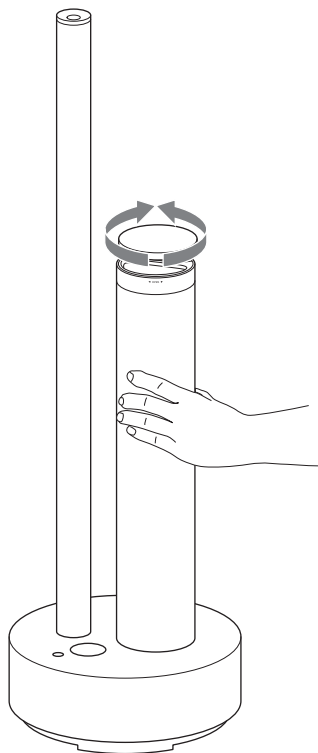
- 加湿モード（連続的に霧が発生します。）
専用のピースガードを約30倍に薄めてお使いください。

タンク1杯分目安：

水道水 約2100cc+ピースガード 約100cc

1 タンク蓋を開ける。

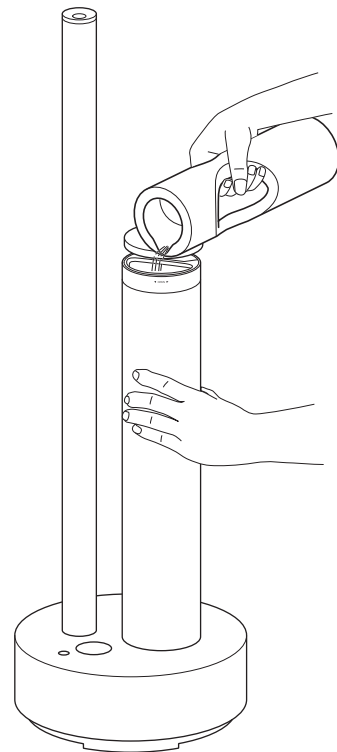
タンク表面の「OPEN」の文字を正面にして、タンクを押さえながら、蓋を左右どちらかに回して開けます。



ご注意

- 蓋を開ける前に、必ず電源を切ってください。
- タンク表面の「OPEN」の文字を正面にして蓋を回さないと、回した蓋がダクトにぶつかります。
- タンク上部（蓋）は密閉構造ではありません。逆さまにするとピースガード／水道水が漏れますので、ご注意ください。
- タンク上部（蓋）を塞がないでください。密閉するとタンクから本体にピースガード／水道水が供給されなくなります。

2 ピースガード／水道水を入れ、タンク蓋を左右どちらかに回して閉じます。



ご注意

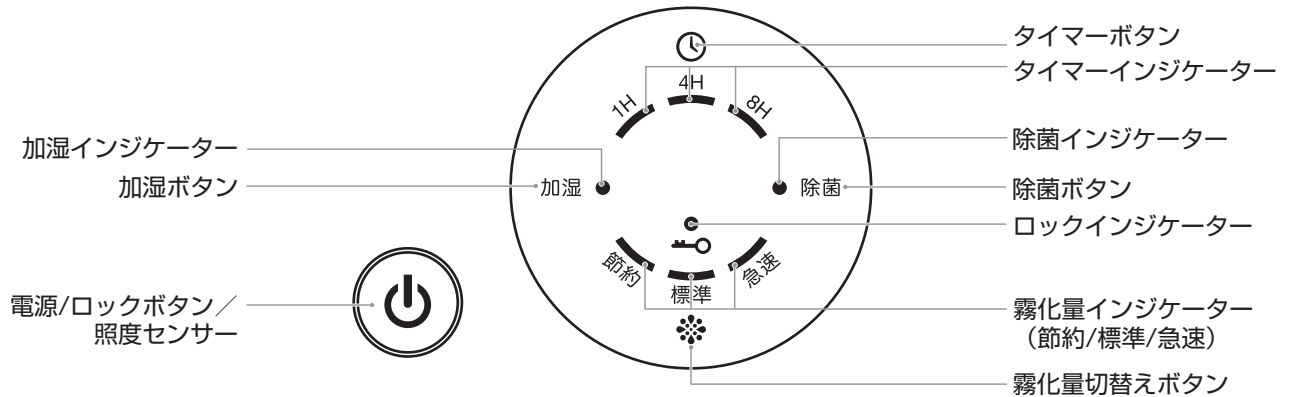
- ピースガード液が良く混ざるよう、先に水道水を入れてから、お使いのモードに合わせた量のピースガードを入れてください。
- タンクのピースガード／水道水が濁ったり、沈殿物が生じることがありますが、異常ではありません。
- 水槽に直接給水しないで必ずタンクに給水してください。
- タンクを扱うときは、安全のため必ず両手で支えながら持ってください。
- タンクにピースガード／水道水を入れたら、ピースガード／水道水が漏れないことを確認してください。
- タンクを本体にセットした後は、タンクの取り付け、取り外しをむやみに繰り返さないでください。
- ピースガードを薄める際、水は必ず水道水を使用してください。タンクに汚れた水、洗剤などは入れないでください。タンクが変形する可能性があるため、40℃以上のお湯は使用しないでください。

タンクのピースガード／水道水の捨て方

タンクを持ち上げ本体より取りはずします。蓋を左右どちらかに回して開け、下方に傾けピースガード／水道水を捨てます。

使いかた

操作パネル



運転を開始する

1 電源プラグをコンセントに差し込む。

ご注意

外出時や長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 電源/ロックボタンを押す。

除菌インジケーター、霧化量インジケーター（標準）、タンク内のインジケーターが点灯します。本機が標準モードで除菌を開始します。

運転中に電源/ロックボタンを押すと、運転が停止し、点灯していたインジケーターが消灯します。

霧化量を変えたいとき

霧化量切替えボタンを押す。

押すたびに、「ピッ」と音がして霧化量が変わります。選択された霧化量インジケーターが点灯します。

→ 標準 → 急速 → 節約

タンク内インジケーターの色が変わります。

霧化量	色
標準	青色
急速	水色
節約	緑色

運転時間を設定したいとき

タイマーボタンを押す。

押すたびに、「ピッ」と音がして設定時間が変わります。選択されたタイマーインジケーターが点灯します。

→ 1H → 4H → 8H → オフ

設定した時間が経過すると、電源は自動的にオフになります。

照度センサー

周囲の明るさを感知し、暗くなると、点灯しているインジケーターの照度が落ちます。

本機をロックする

電源/ロックボタンを3秒以上長押しする。

ロックインジケーターが点灯し、本機がロックされます。

再び3秒以上長押しすると、ロックインジケーターが消灯し、ロックが解除されます。

除菌する/加湿する

除菌ボタンを押す。

間欠的に霧が発生します。

専用のピースガードを水道水で約4倍に薄めてお使いください。お部屋の除菌・消臭に効果があります。

加湿ボタンを押す。

連続的に霧が発生します。

専用のピースガードを水道水で約30倍に薄めてお使いください。除菌・消臭に加えてお部屋の加湿ができます。

お手入れのしかた

お手入れするときのご注意

- お手入れする前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機に水をかけないでください。
感電、けが、故障の原因になります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、みがき粉などは使用しないでください。
本機を傷めるおそれがあります。
- 使用中にお手入れしないでください。
感電やけがの原因になります。
- お手入れに塩素系またはアルカリ性の洗剤は使用しないでください。
有毒ガスが発生する原因になります。

タンクの掃除をする

タンクに水を入れ、十分にすすぎ洗いして下さい。

本体の掃除をする (1週間に2回以上)

1 ダクト、タンク、本体カバー、ダクトホルダーをはずし、水槽のピースガード/水道水を捨てる。

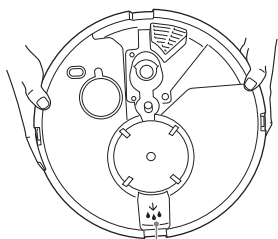
図のように、排水方向の表示の矢印が下を向くように水槽を傾け、ピースガード/水道水を捨ててください。

ご注意

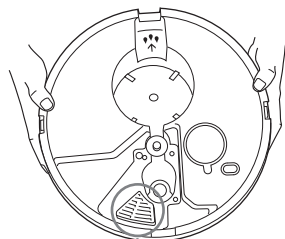
水槽の排水方向の表示を必ず守り、ファン吹出口にピースガード/水道水が入らないように注意してください。ピースガード/水道水が内部に入ると、故障の原因になります。

正しい方向

間違った方向



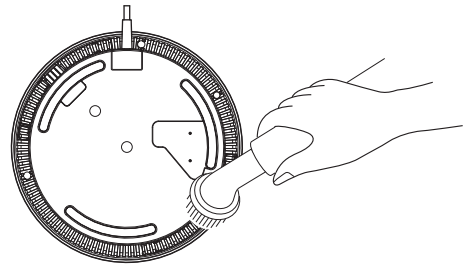
排水方向の表示



2 よく絞ったふきんで本体の内部の汚れを拭き取る。 定期的に綿棒やスポンジなどの柔らかいもので掃除してください。また、故障の原因となるため、超音波振動部の表面を金属のブラシなどで絶対にこすらないでください。

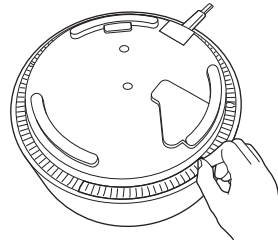
3 吸気口の掃除をする。

本体底面の吸気口に付着したホコリは、掃除機などで取り除いてください。

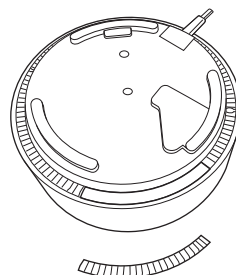


4 3の手順でホコリが取れない場合、エアフィルターを本体から取りはずして水洗いする。

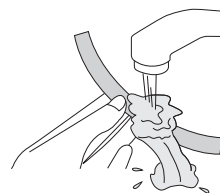
- ① 本体の底面を上に向け、フィルターカバーの取っ手を時計回りに押す。



- ② フィルターカバーをはずす。



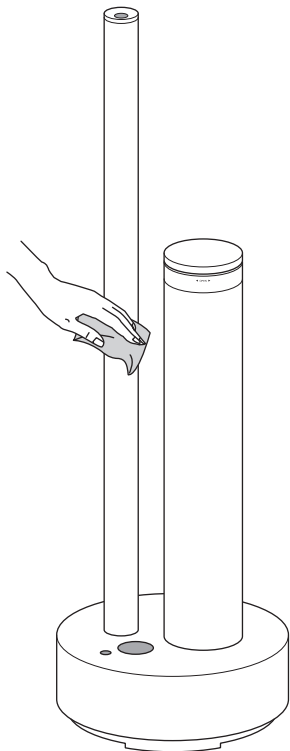
- ③ エアフィルターを本体から取りはずして水洗いする。



- ④ 洗った後は日陰で自然乾燥させた後、本体に取り付ける。

5 本体の汚れを取る。

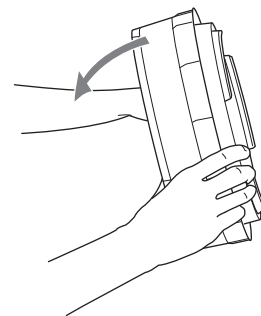
柔らかい布で拭いてください。落ちにくい汚れは、中性洗剤溶液に浸した布を固くしぼって拭き取り、その後水拭きして本機に洗剤が残らないようにしてください。



長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならない場合は、タンク、本体内部、水槽などにピースガード／水道水が残らないよう、下記手順を行ってください。

- 1 タンクのピースガード／水道水を捨てる。**
「タンクのピースガード／水道水の捨て方」(㊦ 7ページ)を参照してタンクのピースガード／水道水を捨ててください。
- 2 水槽のピースガード／水道水を捨てる。**
「本体の掃除をする(1週間に2回以上)」(㊦ 9ページ)の手順1を参照して水槽のピースガード／水道水を捨ててください。
- 3 本体内部に残ったピースガード／水道水を捨てる。**
 - ① 本機を水平方向に置き、フロート(㊦ 4ページ)が一番下まで下がっていることを確認してください。
 - ② 電源プラグをコンセントに差し、電源はオフの状態、電源ボタンを5秒押し続ける。
加湿インジケーターが点滅します。
 - ③ 加湿ボタンを押す。
除菌インジケーターが点滅します。
 - ④ 除菌ボタンを押す。
「ピーピー」と音がします。
 - ⑤ 排水方向の矢印を下に向け、本体上部を手前に傾けながら、左右数回動かし、本体内のピースガード／水道水を捨てる。



「ピーピー」の音が鳴り始めてから30秒以内に本体内のピースガード／水道水を捨ててください。(「ピーピー」の音は約24秒後に「ピッピッ」に変わり、最後は「ピー」と長い音になります。)

30秒以内にピースガード／水道水を捨て切れなかった場合、1分以上経過後、手順②から操作を繰り返してください。(1分以内に繰り返すと加湿インジケーター、4Hタイマーインジケーター、除菌インジケーター、標準霧化量インジケーターが点滅し、操作を繰り返すことはできません。)

操作中、電源ボタンを押すとビープ音が止まりますが、それ以上排水は不可になります。

4 掃除する。

「本体の掃除をする（1週間に2回以上）」
（☞ 9ページ）の手順2～5を参照して掃除をしてください。

5 乾燥させる。

お手入れ後は付着したピースガード／水道水を乾いた布で拭き、本体、タンク、パイプを日陰（屋内）で自然乾燥させてください。

タンクキャップは本体から取りはずし、十分に乾燥させてください。

6 保管する。

ポリ袋などの湿気を通さない袋に入れ、湿気が少なく、直射日光が当たらない場所に保管してください。

ご注意

十分に乾燥させないまま収納しないでください。

カビの発生や悪臭の原因になります。

故障かな？と思ったときは

症状	確認事項	対処
“ピピッ”という警報音が5秒間鳴り続き、タンクのインジケーターがオレンジ色に点滅する	タンクにピースガード/水道水が入っていますか？	タンクにピースガード/水道水を補給してください。
“ピピッ”という警報音が5秒間鳴り続き、操作パネルのすべてのインジケーターが早く点滅する	ダクトホルダーが正しくセットされていますか？	ダクトホルダーが正しくセットされていない場合は、正しくセットしてください。 (☞ 5ページ)
“ピピッ”という警報音が鳴り続き、操作パネルのすべてのインジケーターが早く点滅する	本体が異常に熱くなっていませんか？	エアフィルターが汚れている場合は、エアフィルターのお手入れをしてください。 (☞ 9～10ページ)
操作パネルのすべてのインジケーターがゆっくり点滅する	設置場所の温度が高すぎませんか？または、低すぎませんか？	温度が適切な温度環境で使用してください。
霧の量が少ない	水槽内の水位が高くなりすぎていませんか？	水槽内のピースガード/水道水を全て捨て、ピースガード/水道水の入ったタンクを再装着して再度お試しください。
	本体を傾いた状態で使用していませんか？	本体を水平な場所に置いて使用してください。
	設置場所の温度が高すぎ（低すぎ）ませんか？	ピースガードは温度によって霧化量が変わりますが、これはピースガードの特性によるもので、不良ではありません。
	超音波振動部が汚れていませんか？	超音波振動部のお手入れをしてください。 (☞ 9ページ)
霧の量が多い	設置場所の温度が高すぎ（低すぎ）ませんか？	ピースガードは温度によって霧化量が変わりますが、これはピースガードの特性によるもので、不良ではありません。

仕様

型名	PG-E610S		
電源	交流100V 50/60Hz		
適用床面積 [m ²] (加湿モード)	木造和室	急速：17 m ² (10畳) ^{※1}	
	プレハブ洋室	急速：27 m ² (17畳) ^{※1}	
霧化量/加湿量 [ml/h]		節約	標準
	除菌モード ^{※2} (間欠運転)	10	20
	加湿モード ^{※2} (連続運転)	150	300
消費電力 [W]		24	36
消費電力 [W]			42
運転音 [dBA]		37	39
運転音 [dBA]			40
外形寸法 [mm]	直径270 × 高さ105 (ダクトを取り付けない場合) 直径270 × 高さ855 (ダクトを取り付けた場合)		
質量 [kg]	約3.5		
電源コード長 [m]	1.8		
タンク容量 [L]	約2.3		
付属品	取扱説明書、保証書、タンクキャップ、給水カップ、ピースガード2.3L (PG-L2300)		

※1 日本電機工業会規格JEM1426に基づく試験方法により算出。

※2 ピースガードの温度が20℃の場合。それ以外の温度では霧化量、加湿量の変動することがありますが、これはピースガードの特性によるもので、不良ではありません。

cado